C　本学は複数のキャンパスから構成されるため、各種サーバの資源はネットワークを介して利用することになるので、安全性、堅牢性、信頼性が十分に考慮されていること。

D　学内の他システムとの連携による学内資源の有効活用が考慮されていること。

E　システムの障害を未然に防止するための十分な保守体制、障害発生時の迅速な対処及びシステム運用についてのサポート体制が提供できること。

2　資料及びコメントの提供方法

上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。

⑴　資料等の提供期限　令和７年４月28日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）

⑵　提供先　〒930―8555 富山市五福3190　国立大学法人富山大学財務施設部経理第一課契約担当　寺田　明弘　電話076―445―6133

3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。

⑴　交付期間　令和７年３月21日から令和７年４月28日まで。

⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。

4　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を開催する。

⑴　開催日時　令和７年３月28日14時00分

⑵　開催場所　国立大学法人富山大学事務局入札室

5　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。

6　Summary

⑴　Classification of the products to be procured : 14

⑵　Nature and quantity of the products to be rent : Student Administration Information System 1 Set

⑶　Type of the procurement : Rent

⑷　Basic requirements of the procurement :

A　The core function of the system is to be student information management (including student registry, curriculum, course registration management, grade and syllabus management). The system must also effectively handle, attendance management, admission fee exemptions, tuition fee exemptions, tuition management, career-support, health management, portal function, student records, registration records, and function to publish certifications automatically.

B　The system must be able to provide various types of information after authenticating individual students, faculty, and staff as 13,000 users.

C　Since University of Toyama consists of geographically dispersed campuses, the system should provide these resources safely, robustly and reliably via campus network.

D　The system must be connected to other systems within our university, and effective use of university resources must be taken into consideration.

E　Technical support including regular maintenance, troubleshooting and operations consulting must be provided to avoid system malfunctions.

⑸　Time limit for the submission of the requested material : 5 : 00 PM 28, April, 2025

⑹　Contact point for the notice : Akihiro Terada, Accounting Division 1, Finance and Facilities Department, University of Toyama, 3190 Gofuku Toyama-shi 930―8555 Japan, TEL 076―445―6133

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

令和７年３月21日

国立大学法人大阪大学総長　西尾章治郎

◎調達機関番号　415　◎所在地番号　27

○第４号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　22、31

⑵　導入計画物品及び数量　手術支援ロボットシステム　一式

⑶　調達方法　借入

⑷　導入予定時期　令和８年１月以降

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

A　内視鏡手術を支援するシステムであること。

B　術者がロボットアームにより遠隔で手術器具を操作できるシステムであること。

C　術者は三次元画像で術野を同定できること。

2　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。

⑴　資料等の提供期限　令和７年５月７日17時15分（郵送の場合は必着のこと。）

⑵　提供先　〒565―0871 大阪府吹田市山田丘２―15　大阪大学医学部附属病院管理課専門職員　岐田　明海　電話06―6879―5118

3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。

⑴　交付期間　令和７年３月21日から令和７年５月６日まで。

⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。

4　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を開催する。

⑴　開催日時　令和７年３月26日13時30分

⑵　開催場所　大阪大学医学部・同附属病院共通棟３階入札室

5　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。

6　Summary

⑴　Classification of the products to be procured : 22, 31

⑵　Nature and quantity of the products to be rent : Robotic Assisted Surgery System 1 Set

⑶　Type of the procurement : products to be rent

⑷　Basic requirements of the procurement :

A　The system should be medical device to assist endoscopic surgery.

B　The system should be that allows the surgeon to remotely operate surgical instruments with a robotic arm.

C　The system should be that enables surgeon to identify the operative field during surgery with 3D image.

⑸　Time limit for the submission of the requested material : 17 : 15　6 May, 2025

⑹　Contact point for the notice : KIDA Akemi, Procurement Section, Accounting Division, Osaka University Hospital, 2―15 Yamadaoka Suita shi Osaka 565―0871 Japan, TEL 06―6879―5118

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

令和７年３月21日

国立大学法人宮崎大学

契約担当役　理事　佐藤　一仁

◎調達機関番号　415　◎所在地番号　45

○第５号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　24

⑵　導入計画物品及び数量　In Vivo　２Ｄ／３Ｄ　発光・蛍光・マイクロＸ線ＣＴマルチモダリティイメージングシステム　一式

⑶　調達方法　購入等

⑷　導入予定時期　令和７年10月以降

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

Ａ．In Vivo　２Ｄ／３Ｄ　発光・蛍光イメージングシステム

ａ．高感度ＣＣＤカメラシステム（－85℃以下で常時冷却可能）で、10枚以上の励起フィルター、18枚以上の吸収フィルター、スキャニングレーザー（１mV以上の出力）を備え、２Ｄ及び３Ｄの発光・蛍光イメージの取得および再構築が可能であること。

ｂ．eXcelonコーティング裏面照射型検出器は、波長500～70nm範囲における量子効率が90％以上で、最大量子効率が95％以上であること。

ｃ．３Ｄマルチモダリティキット（Ｄ）を介して高分解能マイクロＸ線ＣＴシステム（Ｂ）で取得した画像データを自動的に重ね合わせできること。

Ｂ．高分解能マイクロＸ線ＣＴシステム

ａ．管電圧（最大100kV以上）、管電流（最大200μA以上）、Ｘ線焦点サイズ（５μm以下）、半導体フラットパネル検出器、Ｘ線自己遮蔽型（漏れ線量１μSV／h以